



大腿骨頸部骨折と骨粗鬆症

「先生、何だか転んじゃってから、足の付け根が痛い」

と息を切らしながら、ソファの上で寝ていた患者さんがいました。

診察をすると、ちょうど大腿骨頸部の部分に痛

みを訴えて、足が動かさません。また呼吸も浅く、早く、酸素飽和度も80%。熱も40度と今までを損なわせる外傷で、その患者さんからは見たこの前後で自立の割合が

ともない発熱で、聴診を吸っている時にバリバリ、バリバリという雪を踏んだような音が聞こえます。これは大腿骨頸部骨折に加え、肺炎もある

予後が厳しい臍臓と同程度となっています。命や生活の質の低下に

と診断し、病院に緊急搬送、同院にて肺炎治療と骨折の外科手術を行う

と、1カ月ほどして無

低下する骨粗鬆症が挙げられますが、これだけ大変な疾患であるにも関わらず、対象患者は約

1280万人、治療を受けている患者数は約

200万人と、治療漏れ



松原 清二 医師

在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

[まつばらホームクリニック]
☎ 042-439-1250
西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)
■電話対応: 午前9:00~午後6:00
■定休日: 土日(祝日は診療)
■訪問地域: 西東京市、東久留米、新座、練馬の一部
まつばらホームクリニック 検索